

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月16日～3月22日)

2021年3月24日

在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- 2021年1月1日時点のベラルーシ対外債務残高、2020年同日対比約14億ドル増の421億ドルであり、過去最高値に到達。(3/16)
- チハノフスカヤ元候補、インターネット上の投票プラットフォーム「声」における国際的仲介による政府代表との交渉に関する国民投票の実施を宣言。(3/18)
- ベラルーシ情報省、国際的仲介による政府代表との交渉に関する国民投票の場となるインターネット上の投票プラットフォーム「声」のサイト閉鎖を発表。(3/19)

## 【ルカシェンコ大統領動静】

### ●ハイテク分野における違法な金融取引を停止するための法律に関する会議に参加。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・デジタルと金融、2つの世界の合流点にある解決策を考え出すためにあなた方を本会議に招待した。デジタル分野の巨大企業の指導者による行動や公式声明が、自動車産業、輸送、物流、宇宙開発など伝統分野に大きな影響をもたらしている。幾つかの国では、IT企業が積極的に、また隠すことなく政治プロセスにおいて活用されている。

・デジタルトークンや仮想通貨は多くの国で一般的となった。伝統的な貨幣と共に支払い手段として考えられている。2017年に我々は世界で初めてこの技術発展のための法的条件を整備した。この3年で我々には具体的な実用が蓄積された。

・一方で、世界では、犯罪的手法で得た収入の合法化を事前に阻止したり、金融テロリズムの発生を防いだり、犯罪活動の排除に向けた一定のルールが作られた。

・政府、国家統制委員会、国立銀行は幾つかの法律を確認し、新たな金融取引に関する管理における必要な水準を設けるべきであると提案している。

・また、このデジタル技術の活用に関連し、文明的管理を行うべきである。しかしこれは、管理であり、アル分野を締め付けるものではない。ベラルーシIT産業特区ハイテクパーク入居企業の多くが伝統的産業を

上回る経済指標を示している。彼らの仕事のお陰で我が国に入る外貨は、金融的そしてデジタルの安定にとって重要な要因となった。

・しかし、我々はもう少し広く見る必要がある。コロナ禍において、世界の指導者達は、国民を救うために何兆ドルも造幣した。しかし、誰かがこの状況を利用した。そしてこれらの資金は成長力のあるIT分野に流れた。ハイテク企業の需要は拡大し、それらの企業価値は200%から800%まで成長した。しかし、合法的産業ではこのような収益を保証することは不可能である。不安定である仮想通貨でさえ、最高値をつけた。しかし、それらは実際の通貨と紐付いておらず、我々がそれらを自国に引き込むことができれば、成長に向けた大きな潜在性となる。

・また、国のデジタル発展の問題があり、一連の大統領決定が用意されている。これにより、現存のリソースを幾つかの重要な分野に集中させ、統一国家規制組織を創設し、デジタル社会の設立のため中国の知見を最大限活用することができるようになる。

(3/16 大統領公式ホームページ)

### ●国家安全保障、社会秩序維持における法律改正に関する会議に参加。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・刑法、労働法等、あらゆる分野で調整する必要がある。どこかでネジを締めれば、どこかで責任が増す。別の場所では緩める必要がある。

・法改正は迅速に行われるべきである。迅速さではロシアを見習うべきである。ロシアでは、昨年末ベラルーシで見たものを例に、然るべき結論を出し法案を採択した。例えば、ナチズムの英雄化に対抗する法案である。これは我々にとっても重要である。ロシアは、この方向に向け具体的な一歩を踏み出した。

・特別部隊からの報告によれば、我々が平和に暮らすことはできないようである。違法なストライキや、インターネットによる人々の意識の操作など、あらゆる破壊的活動に対し用意しておく必要がある。

(3/18 大統領公式ホームページ)

### ●連合国家書記(ラポタ前書記からメーゼンツェフ書記へ)の交代に関する大統領令に署名

(3/19 大統領公式ホームページ)

### ●グロドノ州を訪問し、乳製品製造施設「オブハヴォ」を視察。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・我々は輸出の多角化に取り組む必要がある。一つの市場に依存してはならない。できるだけ多くの点に依拠する必要がある。点が多ければ多いほど、システムはより安定的になる。

・中国向けのベラルーシ製品納入は、高い水準に到達した。中国は非常に大きな市場であり、彼らにとって我々は子供のようなものであるが、良い関係が築けている。中国は、常に我々にとってプレミアムな市場というわけではないが、多角化のために必要である。モローチュニュー・ミール社のみで中国向け取扱高は 450 億ドルを超えた。2019 年対比 3 倍に拡大した。ベラルーシ製食品の中国向け輸出額は 250 百万ドルであった。

・食品分野における有望な市場としては、パキスタンとインドであろう。彼らとはソ連時代から良好な関係を築いてきた。

・また、ベラルーシ企業は EU 市場も獲得しつつある。政治は政治であり、ビジネスはビジネスの道がある。彼らとの関係を失う必要はない。

・政権移行は、選挙によるものである。私の子供達が

私の後に大統領になることはない。今回の私の出張に同行したカラニク・グロドノ州知事(元保健大臣)、カラエフ・グロドノ州大統領補佐(元内務大臣)は大統領選挙に参加する可能性がある。強い候補となろう。

・私がプーチン露大統領に対し、憲法改正を約束したという言及があるが、私はあなた方ベラルーシ国民以外にだれとも憲法改正を約束していない。ベラルーシの憲法改正にロシアが何の関係を持っているだろうか。

(3/19 大統領公式ホームページ)

### ●ハティンの悲劇の集会に参加。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ハティン、そして同じ運命を負った千に亘る村や都市の悲劇は、ベラルーシ国民の、そしてソ連の人々の心における消えることのない痛みである。今日、我々、様々な世代、宗教、様々な哲学的・政治的視点をもった者達の代表が共に罪のない人々を追悼し、あの戦争における事実を守るために、ここに集まった。

・その事実は、非常に残忍であり、その記憶は辛いものである。占領者と彼らの共犯者は、9200もの村を焼き払った。そのうち5000以上は、村民もろとも焼き払われた。我々は、こうしたことが何から始まるのか知っている。ある国民が他の国民に対して、人種的、遺伝的その他あらゆる種類の優位性を持つという考えから、上級と下級への分断から、始まるのである。現在も尚、世界中でこの理論を支持する者がいることは、恐るべきことである。しかし、ファシズムのイデオロギーは、我々ベラルーシ国民にとって無縁のものであり、我々の遺伝的記憶が真の国民的免疫となったことは、安堵をもたらすものである。

・この記憶には、たくさんの痛みと苦しみがあり、悲惨な歴史的経験がある。第二次世界大戦は単なる戦争ではなく、我々スラブ人の計画的駆除であった。

・ハティンの悲劇の記念日の前日、この記憶すべき夜に、私は、ナチズムの象徴を復興しようと試みる者達に伝えたいことがある。少数ではあるが、残念ながら現代ベラルーシにも、そのように考える者がいる。

・ファシズムが我々に文明を与えたと信じこんでいる

者、殺人者を英雄視する者、ベラルーシ国民のジェノサイドが行われた際に掲げられていた白・赤・白の旗に頭を下げる者、全員に伝えたい。我々はこの問題に取り組んできたし、全世界に対し、ジェノサイドとは何か、そして、今日、我々にどう生きるべきかを説教しようとする者たちに少なくともそんな権利はないことを証明し、示そう。道に迷い、頭が朦朧としている者に伝えたい。「来たれ、そして見よ。」(当館注:この言葉は聖書からの引用だが、ドイツ占領下のベラルーシを舞台としたソ連映画(邦題:「炎 628」)の露語原題名でもある)。ハティンやボルキ、オール、ダリヴ、ウサキノ、シュネフカ、アザリチ、そしてトロステーネツ、ヤーマ、クラスヌィ・ペーレグなど(当館注:ナチス占領時に虐殺が行われた場所の地名)の記念碑に行くが良い。

・自分の目で、殺された母親の身体の下で生き延びた赤ん坊を、井戸に落とされた子供達を、母性の幸せを感じることができないまま銃殺された妊婦を、亡くなった息子の灰を取り出す父親を、吊された無力な老人を見よ。

・非人道的悲劇を体験しつつも、征服されず、負けることのなかった何百万人ものベラルーシ人の子供の叫び声、母の泣き声、父の辛い悲嘆が合わさったハティンの鐘の音を聞いてこい。我々はこれらを永遠に覚えておくべきであり、どんな難事が我々に降りかかろうと偉大なる祭日(の行事)に出席することを恐れてはいけない。そして、神聖なる勝利の日に、我々のために命を落とした方々に然るべき敬意を捧げる必要がある。なぜならば、彼らが命を落としていなければ、我々は存在し得なかったのであるから。

・過去からのこれらの声が、全世代に対して、平和は脆く、人間の命は価値があるが、これらは簡単に失われてしまうことを喚起しますように。この鐘が鳴る限り、ベラルーシは覚えている。

・我々は、第二次世界対戦の歴史の恐ろしい頁を忘れることはない。我々は、我々の地で敵が見せた残忍さ、非人道さ、秩序を乱す行為を許すことはない。我々は覚えており、それが我々の力である。殺された方々、苦しめられた方々が永遠に追慕されんことを。

頭を下げ、黙祷を行おう。

・本日の鎮魂集会は終わるが、鎮魂が終わることはない。ぐずついた天気にも関わらず足を運んで頂き感謝申し上げます。我々がベラルーシの記念碑や聖地に来る限り、我々は人でいられる、と覚えておくべきである。我々は生き続け、我々の国は存在し続ける。我々が、この神聖な場所までの道を忘れた時に、我々は国民として、民族として死ぬことになるであろう。(3/21 大統領公式ホームページ)

## 【外交】

●欧州安全保障協力機構・米国代表、チハノフスカヤ元候補による政権との交渉に関する国民投票に賛成を表明。

(3/18 ベラパン通信)

●欧州安全保障協力機構・EU 代表、チハノフスカヤ元候補による政権との交渉に関する国民投票に賛成を表明。

(3/18 ベラパン通信)

●ペスコフ大統領報道官、「ルカシェンコ大統領は、プーチン露大統領に対し憲法改正に関する約束をしていない。」と公表。

(3/22 ベラパン通信)

●フィッシャー駐ベラルーシ米国大使、「米国はベラルーシにおいて国際基準に則った選挙実施のため支援する用意がある」と公表。

(3/22 ベラパン通信)

●プーチン露大統領、シャルル・ミシェル欧州理事会議長と電話会談し、ベラルーシ情勢に関し表明。

(3/22 ベラパン通信)

## 【経済】

●2021年1月1日時点のベラルーシ対外債務残高、2020年同日対比約14億ドル増の421億ドルであり、過去最高値に到達。

(3/16 ベラパン通信)

●1月、赤字企業数、昨年同期対比、20%増加。

(3/16 ベラパン通信)

●2020年、ベラルーシ企業の負債額、約23%増加。

(3/16 ベラパン通信)

●1月～2月、ベラルーシGDP成長率、+0.8%。

(3/17 ベラパン通信)

●ロシア議会、オストロヴェツ原発に関する対ベラルーシ融資の組替を承認。

(3/17 ベラパン通信)

●ベラルーシ財務省、2021年財政赤字額、従来予想の40億ルーブルから56億ルーブルへと修正すると公表。

(3/19 ベラパン通信)

#### 【内政】

●ベラルーシ情報省、国際的仲介による政府代表との交渉に関する国民投票(当館注:チハノフスカヤ元候補が開始宣言したもの)の場となるインターネット上の投票プラットフォーム「声」のサイト閉鎖を発表。

(3/19 ベラパン通信)

●人権センター、21日の抗議運動において10名以上が逮捕されたと発表。

(3/22 ベラパン通信)

#### 【抗議の動き】

●チハノフスカヤ元候補、米国議会公聴会にオンラインで参加し、米国に対しベラルーシ国民への支持を要請。

チハノフスカヤ元候補の発言概要は以下の通り。

・政権は憲法改正や国民投票について言及しているが、我々は新たな選挙と、市民社会・政権間の交渉について話をしている。憲法改正は必要であるが、そ

れは焦眉の問題ではない。

・今日の課題は、ベラルーシにおける政治的・人道的の解決である。憲法改正は新たな大統領選挙と同時並行あるいは選挙後すぐに行うべきものである。

・「私がベラルーシとの関係を失った。」「追われている身である。」「彼女は全てを理解できているわけではない。」と言われるが、それは真実ではない。

・インターネットのおかげで、私は医師、学生、従業員等とのオンライン会議に参加できている。私は、毎日人々を感じる必要があり、彼らの目を見て、彼らに元気を与え、私も元気を得ている。私はベラルーシとの関係を失っていない。人々との交流を通じ、まるでベラルーシにいるように感じる。

・私が帰国すれば、すぐ逮捕・拘留されるであろう。私は国外にいた方がベラルーシ国民のためにできることが多い。

(3/17 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、インターネット上の投票プラットフォーム「声」における国際的仲介による政府代表との交渉に関する国民投票の実施を宣言。

(3/18 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、リトアニア議会と協力し、ベラルーシの政治危機脱出を協議するための「カリノフスキー・フォーラム(当館注:カリノフスキーとは、19世紀後半、リトアニア・ベラルーシ臨時政府を率い、ロシア帝国に対し反乱を起こした人物)」を共催。

(3/21 ベラパン通信)

●ババリコ元候補、同氏を巡る裁判において自身の罪を認めないと表明。

(3/22)

(了)